

〔上映報告〕

3・15、4・16 大弾圧記念集会企画

# わが青春つきるとも

—伊藤千代子の生涯—

〈日本語字幕入りDVDで上映されました〉

〈挨拶をする藤田廣登氏〉



「涙が止まらなかつた」「これからの闘いに力をいただいた」などの声がありました。(いた

だいた感想は、2面・3面に掲載されてお

ります。)

いま、岸田政権による「戦争する国家づくり」の暴走を許さず、絶対に「戦争させない」闘いを、この伊藤千代子の生きざまから学び、頑張っていきたいと思えます。改めて映画上映にご協力いただいた皆さんに感謝いたします。

映画『わが青春つきるとも—伊藤千代子の生涯』の上映会を3月4日、「アピオあおもりイベントホール」で2回行われ、270人余の来場者があり成功させることができました。

上映に先立ち、映画の原作本となった「時代の証言者 伊藤千代子」原作者、藤田廣登氏から挨拶をしていただきました。

映画を鑑賞された方々からは「感動した」「涙が止まらなかつた」「これからの闘いに力をいただいた」などの声がありました。(いた



〈挨拶を聞く来場者〉



No. 586

編集発行人 田中幹夫  
 治安維持法犠牲者  
 国家賠償要求同盟  
 〒113-0034  
 東京都文京区湯島2-4-4  
 平和と労働センター全労連会館内  
 電話 03-5842-6461  
 FAX 03-5842-6462  
 振替 00110-6-97793  
 定価 50円

青森県版  
 2023年4月15日発行  
 第 370 号

〒030-0904  
 青森市茶屋町11番5号  
 TEL 017-718-3166  
 FAX 017-718-3167  
 青森県本部

## 山毛榉

▼敵基地攻撃能力(反撃能力)の保有の明記と23〜27年度で43兆円の防衛費を記載した安保3文書の改定▼3文書は、①最

上位の戦略文書「国家安全保障障戦略」②10年程度で保有する防衛力の水準を規定した「国会防衛戦略」(「防衛計画の大綱」(大綱)を改称)③五年間の防衛費総額や主要装備品の数量を定めている「防衛力整備計画」(中期防衛力整備計画(中期防)を改称)である▼なぜ名称を変更する必要があるのか。島田前防衛事務次官(現・内閣官房参与)は、「大綱・中期防は防衛力抑制を目的に生まれた経緯があるので、改定では防衛力を抜本強化する政府の方針を明確にする文書にすべきだ。名称変更の論議もそういう背景がある」と述べている。名称変更は軍拡歯止め外しだったのだ▼「日本は明らかに戦時体制に入った」(田中優子氏)「新しい戦前」にさせないために……が問われている。(平)

# 【映画】『わが青春つきるとも—伊藤千代子の生涯—』

## 感想

◆すばらしい！ 涙を流しました。自分のしていることを続けたいと思いました。

◆戦前、戦中、戦後の中を生き抜いた女性の生き方に、感動。治安維持法のことを知ることができ良かった。

◆さいごに、一枚の写真が写った。説明のとおり、これしか現在残されていないとの事、彼女を取りまく人々はこの現実を深く受け止め、どのような感情を持ったのだろう。1946年1月生まれの私は、これからの生き方を問われた気がした。治安維持法は1945年廃止になったとのナレーションが、今も耳に残る。

◆大変良かったです。最後まで、自分の思想を変えなかった千代子さんはすごい人だと思いました。自分にはむりだと思いました。

◆不平等を思う気持ちの強さに感動した。正しい事、まちがっている事にこれから声をあげていきたい。

◆胸が痛くなりました。子供の頃の事が思い出されます。(81才)

◆こんなすばらしい映画を作ってくれてありがとうございます。とっても心に残る作品です。上演ありがとうございました。

◆映画を見終って、涙が止まりませんでした。自分の死をかけてまで勝ち取った権利を、今の若い人達は、どう思っているのでしょうか。選挙率の低さがそれを示していると思います。今、世の中を動かしている政党が、反省も何も無いからでしょうか。その為に学校でも、自分達の都合の悪い事に蓋をして、口を噤んでいるから教育まで変な方向に行ったと私は思います。(M・T 女性)

◆骨太な大作でした。説明的な所も多いですが、でも涙、涙でした。ありがとうございました。今の時代に全力でぶつからなければとあらためて考えました。

◆伊藤千代子さんを演じた俳優さんの熱演に圧倒されると思いで観ました。時代背景もよく分かって良かったと思います。上映前に、藤田さんのごあいさつを設定された事務局の方々の御苦勞に敬意を表します。(T・K 男性)

◆拷問されても信念(誰にもわかるあたりまえのこと)をまげず生き抜いた姿に圧倒された。当時の権力の体質は現在も形を変えて受け継がれていることを実感する。

◆胸がいっぱい、涙がいっぱいで、あとは書けません。

絵手紙



吉田祥子 (東青支部)

◆今「新しい戦前」がはじまっているという時に伊藤千代子の生涯に触れて大変うれしい。が、歴史は繰り返さないようにしたい。女性たちが、時代の中で連帯して闘った姿が現在につながって、ジェンダー平等への歩みになったことは希望である。

(Y・I 女性)

◆正しいことを正しいと言えない時代に生まれた千代子が弾圧という権力の力で押しつぶされた様子を、リアルに表現されていて、涙をこらえるのがやっとなでした。

(T・N 男性)

◆この映画を観て体の中にスイッチが入りました。困難な中で苦しんで今があることの大切さを改めて認識しました。この映画からしっかり学び、行動していくことがどんなに大切なことなのか。

今日から実践します。

◆今、再び戦争への道に引き込まれようとしている時にこういう映画が作られたのは、大切なことだと思います。署名、広げたい。

(H・O 女性)

◆戦前の様子が今近づいていっていることを再認識させられました。彼女たちの勇気と安井学長には深い敬意を覚えました。

◆治安維持法、今これが再び現実になろうとしている。今の軍靴の音が聞こえる様な時代を何としても阻止しなければならない。暗黒時代を再び迎えないためにも。(Y・A 女性)

## 2023年 相沢良碑前祭

■とき 5月13日(土) 午前11時～12時

■ところ 青森市浪岡西山展望台



私が出合った子どもたち……⑤2

## 『有美子（仮名）』

一戸 義規

有美子は三年間私のクラスにいました。一・二年の時は「大人しくて真面目な子」という生徒でした。

……中学校三年の時の「卒業文集」の有美子の文からの抜粋です。

「三年A組は私にとって一番大切な思い出になった。本当に一人ひとりがやさしかった。時にはバラバラになったり、団結したり。学級には忘れない思い出がたくさん詰まっている。その思い出の中から一つだけ書いておきたいことがある。文化祭の合唱コンクールだ。やる気を出させ盛り上げていくまでにはだいぶ時間がかかった。もうあきらめかけている時、女子全員が団結した。短い少しの練習だったけど毎日やった。一部の男子が私たちの練習を見て動

きはじめてた。その次の日の練習では、男子のリーダーを中心に、全員がやる気に満ちていた。そのまま波にのり、当日を迎えた。昨日までより、みんなの目が光っているように見えた。歌いはじめた時、目標が果たせたと思った。終わった後のみんなの顔は、「やりとげた」という満足の顔だった。最優秀賞だった……」

実は、このクラスは二年A組の時に、文化祭・合唱コンクールに向かう際に「三年生を負かして最優秀をねらう」という目標を立てて全員で燃え上がりました。……その実力があつたのです。男子は体格も発声も抜群で、音楽の教師のお墨付きのクラスでした。本番でも三年各クラス以上の実力を発揮しました。しかし「最優秀」には届きませんでした。

た。

そして三年の「文化祭・合唱コン」……、男子のリーダーを中心に「去年あれだけ頑張った……。今年の二年生も頑張っているから二年生が最優秀でもいいんでねの……」「音楽の時間に充分練習している。朝練や帰りの会の練習はもうやりたぐね……」という流れになっていった。他のクラスで朝練などの独自練習が行われる中で、有美子や千鶴子、恵などの女子はいらいらしていた。帰りの会で、女子からは「二年生が頑張っているからって、三年生が手を抜いて二年生に賞をとらせるなんて、二年生に失礼だと思う……」男子からは「音楽の時間に一生懸命やっている……先生（音楽科）も三年A組はトップと言っている……無理して練習やる必要ない……」となり、膠着状態……学担の一戸は「どちらの意見もいいな……」

本番一週間前の朝、有美子たちは行動に出ました。「女子一同の訴え」を印刷して、クラスの男子の下駄箱に投げ

込んだのです。当然、このことは他のクラスの人にも知れ渡りました。ついに、女子と男子は「朝の会で一回、帰りの会で一回だけはみんな練習する。やり直しはなし……」ということまで合意しました。

そして本番、他のクラスを圧倒して「最優秀」となりました。文化祭を終えた三年十一月、有美子は学級会長に立候補しました。同じく夕子も立候補したため、無記名の決選投票、有美子は一票差で落選しましたが、「自分にこんなに票が入った……」と喜んでいました。

三月、有美子は公立高校を受験しましたが、前日の湯冷めから体調を崩したまま受験し、卒業式後の発表で「不合格」となりました。合格した生徒が集まる時間に、有美子は公立高校に合格したクラスの仲間と学校に来ました。そしてクラスの仲間の公立高校合格祝い、励ましていました。自分も私立高校で頑張るつもり……と話していました。

